



「職業講座」レポート

建築

社長

in 丸岡南中学校



毎年丸岡南中学校では、1年生を対象に「進路学習」が行われています。主テーマは「働く事の意義」で、12月上旬から2月にかけてスケジュールを組んで勉強しているそうです。そして、その中の一つとして今年も2月2日(木)「職業講座」のお手伝いに行っておりました。

今年は「警察官(要人警護)」「看護師」「パティシエ」「旅行会社」「塗装業」等の中から、興味のある講座を事前に2つ選んで受講するシステムで、私(社長)は専門分野の「建設業」について2講座(50分×2)お話をさせて頂きました。先生のお話では建築は人気のある業種だそうですが、どうしても「男の仕事」というイメージがあるのか、圧倒的に男子生徒が多かったのですが中には女子生徒の顔もあり頼もしく感じました。

授業内容としては、「自社の紹介」「建築って何?」から始まり「建築工事の流れ」「工事の職種」「個々の役割」「どんなところに仕事のやりがいがあるのか」等について、モニターを使って説明したり、実際に私達がお客様との打ち合わせで使う住宅模型や図面を描くための建築CAD等を、順番に見たり触ったりしてもらいました。私が話をすれば、シャカシャカとペンはノートを走り、模型や図面にも興味津々で2講座共あつという間でとてもやりがいのある授業でした。最初は「生徒達の人生を左右するかもしれない大事な進路に関する授業なんて、かなり荷が重いなあ〜」と思いましたが、ピュアな気持ちで耳を傾けてくれる真剣な眼差しに逆にこちらがリフレッシュさせてもらい嬉しくなりました。中学1年生ではまだ将来の仕事を見つけるのは難しいとは思いますが、私達がお手伝いした事から何か感じ取ってもらえたらいいなと思いました。



それ何!?

職人さんが使う現場用語

現場で使われるユニークな建築用語を紹介します。今年は酉年という事で鳥にちなんだ言葉を集めました。

【鳶職(とびしょく)】

建設現場で、高所作業を専門とする職人の事を言います。梁から梁へと飛び移り、高いところで掛け声をかける様が鳶に似ている事からそう呼ばれているそうです。江戸時代の「火消し」の頃から主に活躍していたとされています。



【鶴首(つるくび)】

屋根の軒先にかかっている、横に伸びる雨樋を支えている金物を指します。確かに横から見ると鶴の首が伸びているように見えますね。



【鴨居(かもし)】

襖や障子などを立て込む為に取り付けられる木枠の事を言います。由来は諸説あり、部屋の上の方にある事から「上(かみ)居」、床に敷いてある「敷(しき)居」と、対となって建具を噛むように支えるので「噛(かむ)居」、部屋の入口である事から、神社の「鳥居」に対して「鴨居」にした、等の説があります。

